

【公表】児童発達支援 事業所における自己評価結果

項目	内容	評価	改善点	実施していること	備考
1	利用者が発達支援サービスの利用で満足しているか。	11			
2	利用者が子どもの状態等に対して、職員が認識を適切にしているか。	9			
3	生活空間は、子どもがわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がい児に配慮し、バリアフリー化や情報伝達等、物理上の配慮が適切にされているか。	11			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			
5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが求められる環境になっているか。	11			
6	環境改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	9	2		
7	保護者向けアンケートにより、保護者等の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		・現状では一部のスタッフのみが対象
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	3	
10	職員の業務の振り返りを行うため、研修や学習する機会や個人間で研修を実施する機会が確保されているか。	10	1		・なかなか開催できていない
11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1		
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を適切に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援従事者だけでなく、子どもの発達に関する職員が共通理解の下で、子どもの発達の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		
14	児童発達支援計画が職員等に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	1	
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	2	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容は含まれているか。子どもの発達に必要な項目が個別に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	1	
18	活動プログラムが変化しやすいよう工夫しているか。	10	1		
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		

20	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整えていること、子どもの発達に照らし、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		
21	連絡の手段や手段を執行すること、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡先等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	1		
22	個人情報の扱いに十分留意しているか。	9	1		
23	障壁のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1		
24	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業を実施しているか。	4	3	3	
25	事業所がコミュニティ、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や保護者は熟知すること、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
26	障壁のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、定期的な研修、自主的な研修等を行っているか。	10			
27	事業所へ、緊急や非常事態、てんかん発作等の子どもの状況を報告しているか。	10			
28	食物アレルギーのある子どもについて、施設の職員等に届く対応がとれているか。	10			
29	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要性を評価し、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	10			
30	子どもの安全確保に関して、要配慮者の対応が適切であるよう、安全計画に基づく対応について、要配慮へ対応しているか。	10			
31	セリハバットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について発信しているか。	10			
32	虐待防止のため、職員の間接的支援を実施する等、適切な対応をとっているか。	10			
33	どのような場合に子どもや保護者から十分な説明と同意を得るべきか、児童発達支援計画に記述しているか。	10			

のびのび広場工事は終了いたしました。今後ともよろしくお願いいたします。

34	児童発達支援計画の進捗状況について確認を行い、その進捗状況に応じて支援の内容や回数等について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		1	
35	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		2	
36	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の課題・改善につなげているか。	10		1	
37	業務中にモニタリングを行い、児童発達支援計画の進捗の把握を実施し、適切な支援を行っているか。	10		1	
38	児童発達支援計画の進捗状況や課題等を把握し、その子どもの状況よく理解した者が実施しているか。	10		1	
39	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		1	
40	移行支援や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブな環境の構築に取り組んでいるか。また、その際、種別や障壁のある子ども、性別、特別支援学校(特別支援)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		2	
41	児童達の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		2	
42	(28～30は、センターのみ回答)				
43	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
44	質の向上を図るため、積極的に同行先や同行機関等から助言を受けたり、職員を外部機関に研修させているか。				
45	(自立支援)協議会が子どもや地域の子ども・子育て支援等へ積極的に参加しているか。				
46	(31は、事業所のみ回答)				
47	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		4	・つくしさんの巡回指導を 活用中
48	保護者や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	5	2	
49	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		1	
50	事業の経費の向上を促す観点から、審議に基いて当該支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	9	1	1	
51	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		1	
52	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの発達の利益の優先の観点の観点に基づき、子どもや保護者の同意を得るべきことを確保しているか。	9		1	
53	定期的に、家族等からの子育てでの悩み等に対する相談に応じ、相談や必要な対応と支援を行っているか。	9		1	
54	父親の会の活動を支援することや、保護者等を招待する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	6	1	3	

※こちら上野先生の3回目
まだ